

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調査

3-13

3-13

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	構成資産の巡視・監視体制の強化
節			事業主体	県文化行政課
事業(施策)名	13 文化財パトロール活動		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市社会教育課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	<p>【事業目的】 ○新潟県文化財保護指導委員による国・県指定文化財等の定期的パトロールの実施により、文化財の現状把握と保全を図る。</p> <p>【事業内容】 ○佐渡市内に所在する国・県指定文化財等(建造物・記念物・埋蔵文化財包蔵地)の現状を把握し、修繕等の早期対応を図るために、県が委嘱する文化財保護指導委員によるパトロール活動を実施する。</p>			
事業計画と実績	<p>③0 【30年度計画】 ●新潟県文化財保護指導委員により、構成資産候補のパトロールを実施する(6回/年)。 ●新潟県文化財保護指導委員と現地協議を実施して、パトロール範囲や巡視内容について認識を共有化すると共に、より実効性のあるパトロール活動を推進するための意見交換を行う。</p> <p>【30年度実績】 ●当初計画どおりパトロールを実施した。 ●新潟県文化財保護指導委員と共に現地協議を実施し、パトロール範囲及び巡視内容について認識を共有化した。 なお、現地協議の際には佐渡市文化財担当職員(世界遺産推進課調査係)にも立ち会いを求め、県・市との間でも共有化を図った。</p>			
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■指定文化財の現状変更や整備事業等に関する最新の進捗状況が、文化財保護指導委員へ適切に伝達されていない事があった。 文化財保護指導委員との円滑な情報共有を行うため、定期的な情報交換の場が必要である。</p> <p>【今後の取組】 ■現在、年2回開催している文化財保護指導委員会を利用して、当該年度に予定している現状変更や整備事業の詳細について情報交換する機会を持つ。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a ・ <b>b</b> ・ c ]</p> <p>計画どおりに事業を実施し、目的を達成することができたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】 [ a ・ <b>b</b> ・ c ]</p> <p>【総合評価】 [ A ・ <b>B</b> ・ C ]</p>			

a: 進んでいる。高い。

b: 概ね順調。概ね適切。

c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。